

宮城学院女子大学 支援室サポーター

2023年度活動報告



活動内容

「大学生活で困っていることがあれば、お互いに助け合っていたらいいよね」という気持ちを大切に活動しています。

おもに昼休みに、ランチやお菓子をつまみながら、研修会や活動の相談・報告会などを開催しています。

無理ない範囲で活動に取り組む中で、多様性の理解とともに自分のスキルアップを目指しています。

宮城学院女子大学

共生のための
多様性宣言

メンバー構成

1年生	1名
2年生	5名
3年生	2名
4年生	3名

⇒2023年度 11名

特別支援室スタッフ2名
(主任・コーディネーター)

コロナ禍で活動が一旦停止
してから、メンバー数が伸び
悩み中・・・

絶賛大募集！！



2023年度の活動は・・・

視覚障害学生の情報保障サポートや、聴覚障害者を念頭においたバリアフリーについての活動を行いました。

おもに昼休みに、講義棟やセンターの会議室で実施しました。

- 車いすミニ研修
- 障害理解研修会
- 学内バリアフリー状況（聴覚障害）の調査
- お茶会
- 視覚障害学生の情報保障
- 筆談ボード掲示デザイン

車いすミニ研修

はじめに車いすの使い方についての動画を視聴した後、実際に車いすで学内を移動しながら体験的に学びました。

車いすに実際に乗ったり押したりすることで、乗っている人の感じ方を体験し、より効果的な声かけ・介助方法を学ぶことができました。

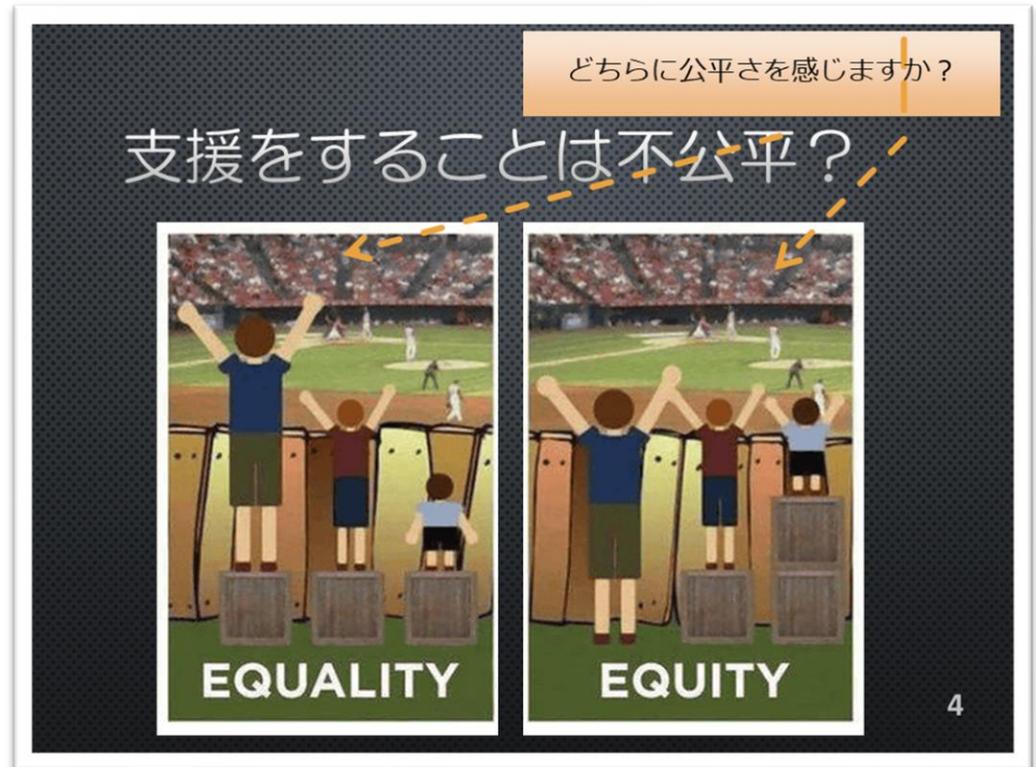


障害理解についての研修会

障害の考え方や、視覚障害や聴覚障害をもつ人の感じる困難さについて理解を深めました。

困難さの例

- 細かい部分がよくわからない
- 大きいものの全体把握が困難
- 運動知覚が困難
- 境界がはっきりしない
 - どこから段差？
 - どこからドア？
- 表情の読み取り



この知識をもとにして、学内環境にどのようなバリアがあるのか調査をすることになりました。

お茶会



様々な学科のメンバーが登録して活動しています。節目節目で、ランチやお茶の交流会を開催してみんなで楽しく過ごす機会も今後増やしていきたいです。他学科のことを知る機会になったり、同じ学科でも授業ではあまり交流のなかった人と親しくなったり、先輩からはいろいろなアドバイスがもらえるかもしれません。



学内バリアフリー状況（聴覚障害）の調査

バリアフリーマップ
（聴覚障害者用）作成
にあたっての調査報告



2

聴覚障害者が使用することを念頭に置いたバリアフリーマップの調査をしたメンバーが、調査報告を発表しました。

学生がよく使う窓口・・・聴覚障害がある人でも使いやすくだろうか？火事や地震、緊急時に情報をどのように得たらよいか、などなど・・・。

調べてみて初めて気づくことがたくさんあったようです。

1	教務課	筆談ボード	入り口すぐ	○	
2	学生課	筆談ボード、紙	窓口	×	
3	キャリア支援課	筆談ボード	窓口、本棚	○	筆談ボード×3 Teamsでの連絡も可
4	図書館	なし			カウンターで対応可能
5	保健センター	筆談ボード		×	
6	副手室	筆談ボード※	各窓口	○	※F副手室はなし。支援 必要時対応可能
7	食堂 (つぶかふえ含む)	なし			学生からの提案があれば 対応可能
8	学生生協	紙	窓口	×	学生からの要望があれば 設置を検討する

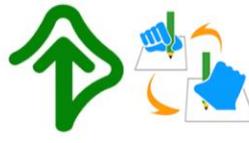
筆談ボード掲示のデザイン

せっかく設置されている筆談ボードが、
使いづらそうだ…。

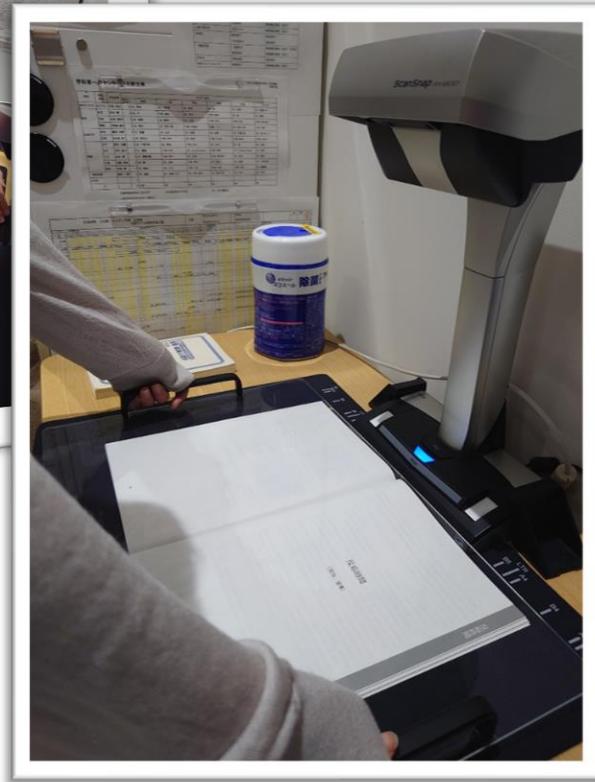
調査から感じたことを改善するために、
学生の立場で何ができるかを考え、見
やすい掲示をみんなでデザインすること
にしました。

この春以降、各窓口で実際に使ってもら
うよう配布する予定です。



<p>筆談 ボード あります</p>  <p>筆談をご希望の方は、 窓口で声を掛けていただ くか、こちらのカードを お持ちください →</p>	<ul style="list-style-type: none">○耳が不自由な方○聞こえや発話に不安がある方○周囲に話を聞かれたくない方○絵や文字を書いて話したい方 	<p>筆談ボードとは？</p> <p>障がいの有無に関わらず、 筆談やメモ・伝言を残す など、多様なシーンで使 うことができます</p> <p>電子メモパット、ホワイト ボード、紙など、様々 な形状のものがあります</p> 
---	---	--

視覚障害学生の情報保障



視覚障害のある学生の情報保障のサポートを行いました。

そのままでは見づらい紙の教科書を専用のスキャナでデータ化したり、共有のパソコンを使用する授業でアクセシビリティの設定を見やすく変更したり、課題をパソコンでまとめるサポートをしたりしました。

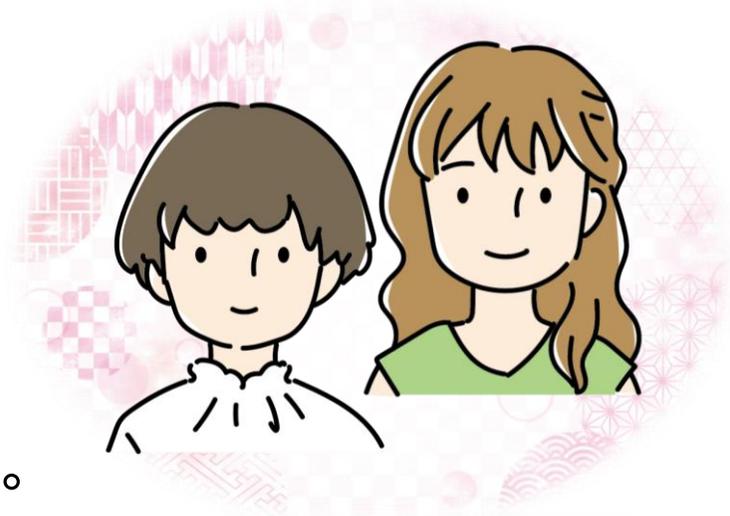
大学祭や健康診断など、行事の際にもお手伝いを頼むことがあります。

学科・学年問わずメンバー大募集しています!

私たちと一緒に活動しませんか?

学内を違った視点で見ることで視野が広がり、
困っている人のサポートを具体的に考えることが
できます。みんな自分の予定に合わせてながら、無
理なく参加しています。

コロナ禍で中断していた他大学との交流会など
も徐々に復活していければいいなと思っています。



問合せ先 学生相談・特別支援センター 特別支援室 (担当者:松田)
TEL:022-277-6276 Email : shien@mgu.ac.jp ⇒⇒⇒

